

農業塾第9講 秋冬野菜の播種②と定植後の管理

今回は、秋冬野菜の播種②と定植後の管理について講習会を行いました。今回の秋冬野菜は、ユリ科とマメ科。ユリ科野菜の代表は玉ねぎ・にんにく・にら・ねぎなど、マメ科はそらまめ・えんどう・いんげんなど、どれも栄養価が高く保存性の高いものが多いようです。



講義の様子



にんにく播種の様子

講義と圃場実習の様子。圃場実習では2班に分かれて種まきと管理作業を行いました。写真(右)は、にんにくの播種準備の様子。雑草の発生防止と地温の確保のためマルチを使用しました。JA指導員が植えつける間隔・深さなどを説明しました。収穫は、5～6月を予定しております。まだまだ先は長いですね。



キャベツ管理作業の様子



大根の間引き作業の様子

写真(左)はキャベツの管理作業の様子。雑草を取り除き、追肥を行い、土寄せ・中耕を行いました。

写真(右)は大根の間引きの様子。育ちのよい物を選び、残りを間引くことで、一本一本をより大きく育てるための作業です。同時に追肥・中耕・除草も行いました。

他にも、圃場内の人参や枝豆・さつまいもの管理作業の説明やナス・オクラの収穫体験を行いました。